



平成18年11月 2 日

各 位

東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地
株式会社インターネットイニシアティブ
代表取締役社長 鈴木 幸一
(コード番号 3774 東証マザーズ)
【問合せ先】取締役 C F O 渡井 昭久
TEL. 03-5259-6500

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月10日の決算発表時に公表した中間期（平成18年4月1日～平成18年9月30日）及び通期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間期業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

【連結（米国会計基準）】

（百万円）

	営業収益 (売上高)	営業利益	税引前当期利益	当期純利益
前回発表予想（A）	25,000	1,000	2,600	2,000
今回修正予想（B）	26,400	1,370	2,140	2,850
増減額（B－A）	1,400	370	△460	850
増減率（％）	5.6%	37.0%	△17.7%	42.5%
（ご参考） 前中間期実績（平成 18年3月期中間期）	21,809	754	1,779	1,623

【単体】

（百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	18,900	300	300	2,000
今回修正予想（B）	19,200	580	600	1,620
増減額（B－A）	300	280	300	△380
増減率（％）	1.6%	93.3%	100.0%	△19.0%
（ご参考） 前中間期実績（平成 18年3月期中間期）	17,275	181	158	1,247

2. 通期業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

【連結（米国会計基準）】

（百万円）

	営業収益 (売上高)	営業利益	税引前当期利益	当期純利益
前回発表予想（A）	55,000	3,200	6,300	5,000
今回修正予想（B）	56,000	3,200	5,000	5,000
増減額（B－A）	1,000	-	△1,300	-
増減率（%）	1.8%	-	△20.6%	-
（ご参考） 前期実績（平成18 年3月期）	49,813	2,411	5,379	4,754

【単体】

（百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	41,000	1,300	1,300	4,800
今回修正予想（B）	41,000	1,300	1,300	4,200
増減額（B－A）	-	-	-	△600
増減率（%）	-	-	-	△12.5%
（ご参考） 前期実績（平成18 年3月期）	37,458	846	737	4,231

3. 修正の理由

（1） 連結業績予想の修正理由

当中間期における当社を取り巻く事業環境は、企業のネットワーク活用の進展に伴うインターネット接続の広帯域化、セキュリティ・インシデントの増加やインターネット関連技術者の不足等によるアウトソースサービスへの需要、インターネット技術を用いた企業情報ネットワークシステムの構築需要等、引き続き順調でありました。当中間期において、営業収益（売上高）は、インターネット接続及び付加価値サービス、システムインテグレーションの各々の区分にて順調に推移し、前回発表予想値に比べ増加する見通しであります。営業利益は、主としてインターネット接続及び付加価値サービスの売上増加に伴い、前回発表予想値に比べ増加する見通しであります。税引前当期利益は、保有株式の時価変動による価値減少に伴い有価証券売却益が当初見込みより減少し、前回発表予想値に比べ減少する見通しであります。当期純利益は、当社の税務上繰越欠損金等に関する繰延税金資産に対する評価性引当金の取り崩しにより法人税等調整額（益）の計上となるため前回発表予想値に比べ増加する見通しであります。

通期における当社の連結業績の予想については、システムインテグレーション関連の売上が第4四半期に集中するといった季節要因の影響が大きいことから、売上高は、当中間期の結果を反映させて前回発表予想値に比較し増加の見通しとしますが、営業利益については、前回発表予想値より修正しておりません。税引前当期利益は、有価証券売却益の減少により、前回発表予想値に比較し減少の見通しであります。当期純利益は、上記税効果会計の適用により前回発表予想値より修正ありません。

(2) 単体業績予想の修正理由

当中間期において、上記の順調な事業環境により、連結業績予想の修正と同様の理由にて、売上高、営業利益及び経常利益は、前回発表予想値に比べ増加する見通しであります。当期純利益は、有価証券売却益の減少により、前回発表予想値に比べ減少する見通しであります。

通期において、当期純利益は、有価証券売却益の減少により前回発表予想値に比べ減少する見通しであります。

- (注) 1. 前中間期（平成 18 年 3 月期中間期）及び前期（平成 18 年 3 月期）実績の数値は、百万円未満を四捨五入して表示しております。
2. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社の入手可能な情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。また、今後の当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、実際の業績が現状の見通しの数値と大きく変わる可能性があります。

以上